

報道関係者 各位

令和3年4月16日

【照会先】

職業安定局

雇用開発企画課就労支援室

室長 佐藤 広道

室長補佐 矢野 誇須樹

(代表電話)03(5253)1111 (内線 5239)

(直通電話)03(3502)6776

新たな履歴書の様式例の作成について

～「様式例」を参考にして、公正な採用選考をお願いします～

厚生労働省では、これまで公正な採用選考を確保する観点から、一般財団法人日本規格協会（以下「日本規格協会」という。）が、JIS規格の解説の様式例において示していた履歴書の様式例の使用を推奨していました。

令和2年7月に日本規格協会が、JIS規格の解説の様式例から履歴書の様式例を削除したため、厚生労働省において公正な採用選考を確保する観点から新たな履歴書様式例の検討を行い、事業主の皆様幅広く参考にしていただくための様式例（厚生労働省履歴書様式例）を作成し（別添参照）、本日開催された労働政策審議会職業安定分科会に報告いたしました。

厚生労働省においては、今後、公正な採用選考への理解を深めるさまざまな取り組みを実施するにあたり、本様式例を活用してまいります。

事業主の皆様におかれましても、採用選考時に使用する履歴書の様式については、本様式例を参考にしつつ、公正な採用選考をお願いします。履歴書の様式に本様式例と異なる記載欄を設ける場合は、公正な採用選考の観点に特に御留意をお願いします。

なお、厚生労働省履歴書様式例と、日本規格協会が示していた履歴書様式例（JIS規格様式例）の異なる点については以下のとおりです。

【厚生労働省履歴書様式例とJIS規格様式例の相違点】

1. 性別欄は「男・女」の選択ではなく任意記載欄としました。なお、未記載とすることも可能としています。
2. 「通勤時間」「扶養家族数（配偶者を除く）」「配偶者」「配偶者の扶養義務」の各項目は設けないことにしました。

別添 厚生労働省が作成した履歴書様式例

